

大会名 Competition	第31回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-111	Year Month Day Time 2018 年 5 月 5 日 9 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB					
中部大第一	<table border="1"> <tr><td>17 1st 15</td></tr> <tr><td>20 2nd 13</td></tr> <tr><td>27 3rd 13</td></tr> <tr><td>21 4th 28</td></tr> <tr><td>E P</td></tr> </table>	17 1st 15	20 2nd 13	27 3rd 13	21 4th 28	E P	福大大濠
17 1st 15							
20 2nd 13							
27 3rd 13							
21 4th 28							
E P							
85 ○		69 ●					

主審:Crew chief
中川行臣 静岡
副審:Umpire
中道凌平 秋田
田村高光 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代工業高

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	中村 拓人	CAP	17	1	7	0	3	4	／	山本 草大	CAP	6	0	3	0	2
5	×	青木 遥平		19	3	5	0	1	5	×	土家 大輝		15	3	3	0	1
6	×	矢澤 樹		4	0	1	2	0	6		西田 公陽		-	-	-	-	0
7	／	小澤 幸平		8	0	3	2	1	7	×	浅井 修伍		16	0	5	6	4
8	×	Boubacar N'diaye		6	0	2	2	1	8	×	木林 優		11	2	2	1	3
9	／	佐藤 優光		0	0	0	0	0	9	／	黒木 丈		0	0	0	0	1
10	／	井戸 光邦		6	1	0	3	3	10	／	緒方 康太		2	0	1	0	0
11	／	仲宗根 弘		7	1	2	0	0	11	／	原田 大和		3	0	1	1	0
12	×	深田 怜音		3	0	0	3	4	12	／	田邊 太一		0	0	0	0	0
13	／	加藤 康太郎		0	0	0	0	0	13	×	中田 嵩基		5	0	1	3	5
14	／	小川 流空		0	0	0	0	1	14	×	横地 聖真		8	1	2	1	0
15	／	Batoumani Coulibaly		13	0	6	1	2	15		岩橋 史門		-	-	-	-	0
16	／	吉本 大心		0	0	0	0	1	16	／	平松 克樹		0	0	0	0	0
17	／	中元 優治郎		-	-	-	-	0	17	／	間山 柊		2	0	0	2	0
18	／	葉山 隆誠		2	0	1	0	1	18	／	高木 寛大		1	0	0	1	0
コーチ		常田 健						0	コーチ		片峯 聡太						0
アコチ		西村 彩						0	アコチ		松本 考司						0
合 計				85	6	27	13	18	合 計				69	6	18	15	16

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 インシュート 2P:2P率 インシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	19	22.35%	青木 遥平
2	17	20.00%	中村 拓人
3	13	15.29%	Batoumani Coulibaly

1	16	23.19%	浅井 修伍
2	15	21.74%	土家 大輝
3	11	15.94%	木林 優

Score ranking[Game]

1	19	青木 遥平	中部大第一	2	17	中村 拓人	中部大第一	3	16	浅井 修伍	福大大濠
---	----	-------	-------	---	----	-------	-------	---	----	-------	------

大会最終日の第1試合は、前日まで3戦全勝の中部大と3勝1敗の福大大濠の対戦となった。

1Q、両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。中部大#4中村がドライブを決め先制するが、すかさず福大大濠は#5土家が3Pを入れ返す。その後、福大大濠#7浅井の連続得点などで4-11とリードしたところで、中部大#15 Batoumaniがコートに入る。インサイドで得点を重ね、逆転に成功し、17-15で終了。

2Q、激しいディフェンスからの速い展開で、中部大#7小澤が連続得点し、7分25秒、21-17となったところで福大大濠は前半1回目のタイムアウトを請求。直後、福大大濠#5土家が3Pを決め1点差に迫るが、以降、約3分間得点できない。その間に中部大は#4中村のジャンプシュート、#15 Batoumaniのゴール下、#5青木の速攻などで得点を重ねる。福大大濠は#5土家のドライブ、#14横地の3Pなどで応戦するが、追いつくまでには至らず、中部大が37-28の9点リードで前半終了。

3Q、出だしでディフェンスのプレッシャーを上げた福大大濠が、#7浅井のリバウンドシュートなどでリズムをつかみ、6点差に詰め寄る。しかし、中部大は#8Boubacarのリバウンドシュートやインターセプトからの速攻、#11井戸ら5本の3Pなどの多彩な攻撃で差を広げ、64-41の23点リードで終了。

4Q、福大大濠はフルコートのディフェンスで最後まで必死にプレーする。#8木林の3Pや#11原田の速攻などで追い上げるが、及ばず試合終了。85-69で中部大が4勝目を挙げ、優勝に大きく近づいた。